



ブラジルレポート

N3PLUS

為替・株式市場

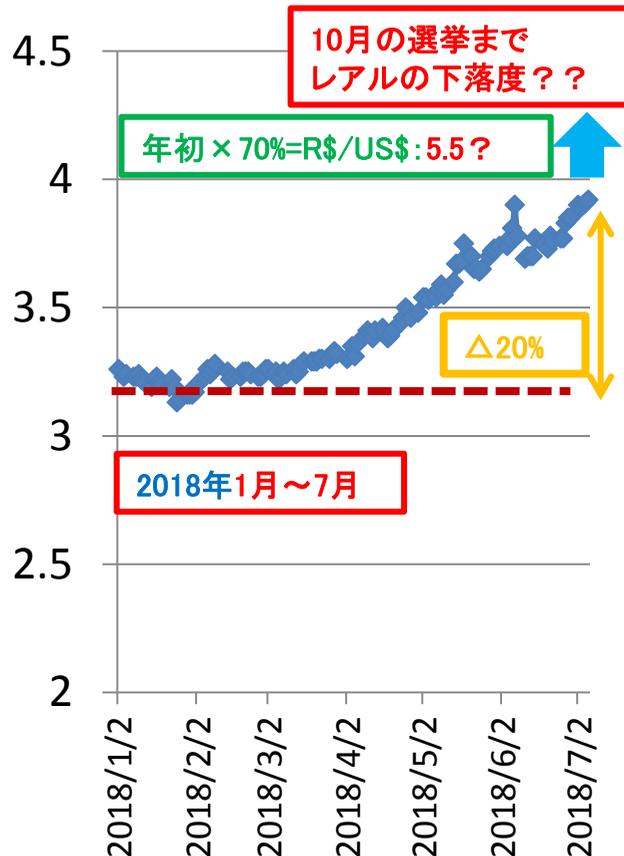
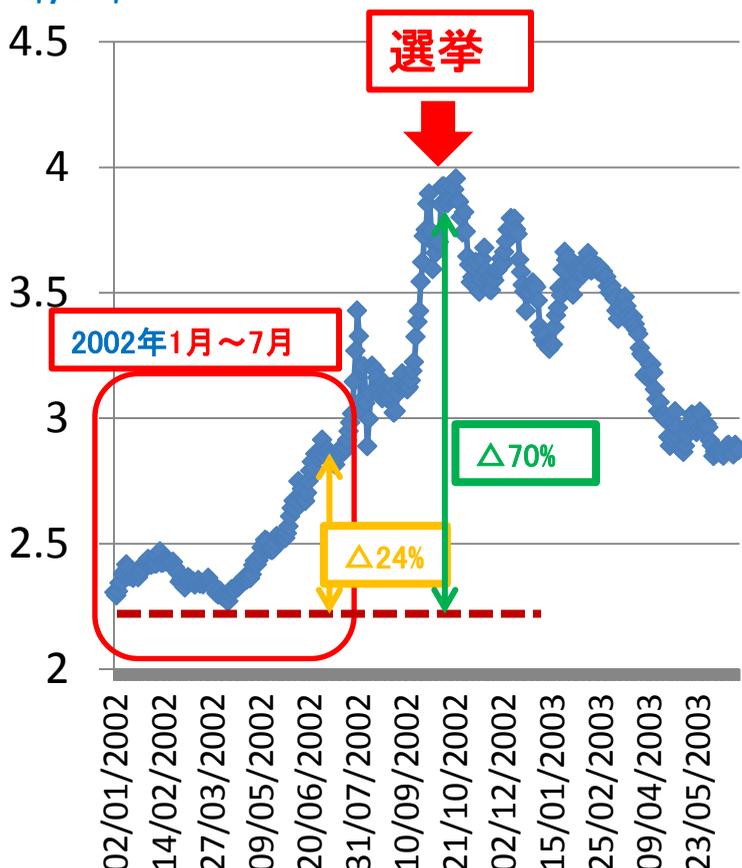
	7月05日	7月06日	18年6月末	17年末	16年末	15年末	14年末	13年末
為替レート(R\$/US\$)	3.91	3.92	3.85	3.30	3.25	3.96	2.65	2.34
株価【BOVESPA】(ポイント)	74,553	75,010	72,762	76,402	60,227	43,350	50,007	51,507

為替の спеキュレーションが話題

- ・米国金利上昇、米中貿易摩擦等の海外要因、独立系トラック運転手のストライキ等の国内要因に加え、10月に行われる大統領選挙の見通しもレアル通貨の動向を大きく左右している。
- ・このところ、為替はR\$/US\$:4.00台をタッチする寸前までレアル安が展開している。次期大統領選挙で極左派と極右派が有利と示す世論調査が招いてる状況だとも解析されています。次期政権での財政改革の実現が困難であるとの見通しです。
- ・今回の大統領選挙は2002年の選挙に類似しているとの見方があり、為替差益で一儲けする事が話題になっています。2002年は、労働者党のLula候補(左派とされていた)の当選確率が高くなるに伴いレアル通貨は下落した。就任後、政治経済が落ち着きレアルは上昇方向に向いた。この経験を市場は忘れてはいない。

政治イベントと為替のボラティリティ

R\$/US\$



2015年・Dilma大統領弾劾騒動でも為替は大きく変動



過去の変動時よりも為替のコントロール条件は改善している

	2002年6月	2015年1月	2018年6月
外貨準備高(億ドル)	420	3,617	~3,800
政策金利(%)	18.50	12.25	6.50
インフレ(年率:%)	7.41	7.14	4.39

➡ 財政改革を逆行する候補者が有利になった場合、レアルの下落をどこまで抑止できるか？

金融機関の経済指標の見通し推移

(GDP↓はあるも為替の大きな変動はまだ考慮していない様子)

	A行				B行			
	12/2016	07/2017	11/2017	07/2018	10/2016	07/2017	11/2017	06/2018
GDP 2018	3.0%	2.0%	2.8%	1.5%	4.0%	2.7%	3.0%	1.7%
GDP 2019	3.0%	3.0%	3.0%	2.5%	3.7%	3.3%	3.4%	2.5%
R\$/US\$2018	3.35	3.30	3.20	3.60	3.60	3.60	3.50	3.54
R\$/US\$ 2019	3.50	3.35	3.30	3.60	3.60	3.55	3.40	3.70
IPCA 2018	4.5%	4.0%	3.9%	4.10%	4.2%	4.0%	3.8%	3.8%
IPCA 2019	4.5%	4.3%	4.3%	4.25%	4.1%	3.6%	3.9%	4.1%

R\$/US\$: 年末値 IPCA: インフレ率